

待ったなし!!

JA自己改革

農協改革集中推進期間の期限到来

《組合員の皆様へ》

政府が示す農協改革集中推進期間の期限が本年5月末に到来しました。

政府の農協改革に対し、JAは総合事業を守るためにJA自己改革に取り組んできました。それは、総合事業がJA経営の根幹であり、総合事業によって地域農業振興や組合員の皆様のくらしの支援を行っているからです。

今後も当JAは総合事業を展開し、「組合員に必要とされるJA」「地域になくてはならないJA」となれるよう、JA自己改革の取り組みを継続してまいります。

組合員の皆様には、引き続きJA事業のご利用とJA自己改革への参加・協力をお願い致します。

〔取り組み事項〕



I 地域農業振興・農業者所得の向上＝地域営農ビジョンの実践



II 組合員とJA役職員との徹底した話し合い



III 准組合員の地域農業のパートナー化

JAは総合事業で農業振興と組合員の皆様のくらしを支援しています

1. 農業振興に必要な財源を信用・共済事業の収益で確保！
2. 農業経営には資金が必要！農業融資で経営支援！
3. 施設栽培に必要な重油等は、燃料購買事業で支援！
4. 介護・葬儀・相続相談・資産活用なども、総合事業でくらしを支援！
5. グリーンセンター・Aコープで安全・安心な地元農産物を提供！

JAは、今後も総合事業
を継続します！



成果 農業者所得が向上しました。

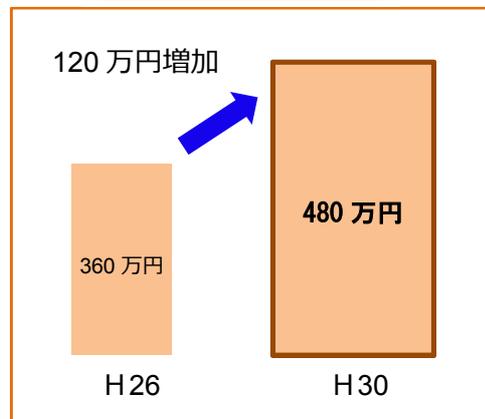
農業者所得向上に向けて、経営面・販売面・生産面で行いました。

- その結果**
- ① 平均農業者所得
H30年は約120万円増加（対H26年）
 - ② 農業者所得800万円以上の農業者
H30年は14名増加（対H26年）

〔主な取り組み〕

- ◆ 出向く支援担当者による個別経営支援 ◆ 農業経営目標の設定
- ◆ 無料職業紹介 ◆ 新規就農支援 ◆ 農地集積
- ◆ 販売力アップ ◆ 生産力アップ ◆ 農業経営のトータルコストの削減

平均農業者所得



「経営記帳青色会」会員データ

◆ 販売力アップ

〔主な取り組み〕

- 温室みかん** 契約販売、化粧箱による出荷
- 露地みかん** 荷受け規格の拡幅（2S果）
- 樹熟デコポン** 契約販売、規格外品の荷受
- 苺** 単価向上、贈答用化粧箱
- アスパラガス** 指定市場の一本化

販売品取扱高



〔H30年度作目別販売高〕

- 柑橘：30.9億円
(対H26：4千万円増)
- 苺：7.4億円
(対H26：7千万円増)
- 野菜・産直等：4.8億円
(対H26：5千万円増)

◆ 生産力アップ

ハウスみかん ICT実証プロジェクトにより高度化栽培計画が完成！
プロジェクトメンバーのH30年度平均反収量が5.6tに増加（H26年度：5.0t）

苺 ICT実証プロジェクトを継続し、R元年度に高度化栽培計画を策定予定！

- ◆ 高度化栽培計画の普及に向け、H30年度まで1人1台目のICT機器「あぐりログBOX」導入費用を全額助成
ICT機器導入施設栽培農家88名（導入率53%）／H31.3月末現在

◆ 農業経営のトータルコストの削減

〔主な取り組み〕

- ◆ 生産性向上のための無料土壌診断
H28～H30年度合計：1,309件実施
- ◆ 除草剤「ラウンドアップマックスロード」の予約価格の引き下げ（H28～H30年度継続実施）
- ◆ 「天敵農薬」の価格引き下げ（H28～H30年度継続実施）
- ◆ その他農薬・肥料の価格引き下げ
H28：164品目、H29：271品目、H30：56品目
- ◆ 補助事業及びJA独自支援による施設建設費用の削減
H28～H30年度合計：27棟
- ◆ 農機具等購入応援事業による費用削減
H27～H30年度合計：144件

成果 組合員の皆様より多くのご意見を頂きました。

総代への事前説明会

参加者：306名
ご意見の数：20件

正組合員意見交換会

参加者：384名
ご意見の数：44件

作目部会意見交換会

合計12回開催
ご意見の数：55件

運営委員会

4回開催
ご意見の数：45件

運営協議会

各支店で2回開催
ご意見の数：71件

青年部情報交換会

1回開催
ご意見の数：14件

利用者懇談会（店舗）

8回開催
ご意見の数：63件

利用者懇談会（SS）

2回開催
ご意見の数：14件

頂いたご意見は、事業運営に反映させて頂きました。

◆事業運営に反映させていただいたご意見（平成30年度の事例紹介）◆

〔ご意見〕JAは農家のためによくやってくれていると思うけど、政府が言う「信用事業の代理店化」や「准組合員の利用規制の導入」に
 対処できるの？



〔JA〕上記の2つはどちらもJA経営の根幹である総合事業を阻害するものです。総合事業でなくなれば今までどおりの地域農業振興はできなくなってしまいます。JAの総合事業を政府に認めていただけるように、JA自己改革に取り組んでいます。

〔ご意見〕遊休農地が増えています
 が何か対策はとれませんか？

〔JA〕農地が農地として活用されるように次の対策を進めていきます。

- 小菊栽培研修会を開催して小菊栽培者を育成
- 野菜栽培講習会で産直生産者を育成

是非とも研修会・講習会にご参加ください！



〔ご意見〕営農支援課の「出向く支援活動」が始まって、JAに相談しやすくなったよ！



〔JA〕お困りごとや農業経営等に対する考えや夢など、支援担当者にご相談ください。JAと一緒に考え、サポートいたします。支援担当者は、経営コンサルもできるようにレベルアップをはかっていきます。

〔ご意見〕施設が老朽化して施設栽培をやめ
 てしまう人が増えてきた。
 産地を維持していくために
 何か対策が必要だ！



〔JA〕重要な課題であり、今年度より担い手の皆様の意向を確認しながら、対策を進めていきます。

多くのご意見、誠にありがとうございました。

今後も徹底した話し合いにより、組合員の意思反映による事業運営に努めてまいります。



〔ご意見〕グリーンセンターの混雑時には、本館駐車場に車を止めますが、買い物カートの返却が大変なので何とかありませんか。

〔JA〕ご意見を頂き、3/30より土・日・祝祭日に本館駐車場に臨時のカート置き場を設置しました。

※ 頂いたご意見は、広報誌「キラメキ」や次回開催時などで回答させて頂きました。

成果 多くの准組合員の方が、「地域農業のパートナー」となりました。

1. 買って応援！

産直品を購入して、地域農業を応援しよう！！

准組合員の産直品・共選品購入割合

H30 年度実績

61.3%

〔准組合員の購入者数〕

14,953 名
(H27)



15,981 名
(H30)

※ H27 年度に比べ購入者が 1,028 名増加しました。

2. 手伝って応援！

農作業パートをやってみよう！！

主婦の方、定年退職された方などにお勧めです。
 農作業のパートをやってみませんか！
 無料職業紹介所でパートさんを募集しています。

紹介実績 (H28~H30) : 延べ 193 名

★お問合せ 営農支援課 68-7877

3. 始めよう、農業を楽しむライフスタイル！

産直会員になって農業で稼いでみよう！！

栽培のことは産直支援課が支援します。
 農地のことは農地センターにお任せください。

★お問合せ 産直支援課 65-7717

農地センター 67-5050

JAは自己改革の取り組みを継続します

自己改革Ⅰ 地域農業振興・農業者所得の向上＝地域営農ビジョンの実践

◎ 農業者所得向上に向けて販売取扱高 50 億円達成をめざします。

- 主な具体策 ① 出向く支援活動のレベルアップ ② 販売力アップ ③ 生産力アップ
 ④ 農業経営のトータルコストの削減 ⑤ 農作業労働力の確保
 ⑥ 優良農地の確保 ⑦ 老朽化施設の解消 ⑧ 担い手の健康管理

自己改革Ⅱ 組合員と JA 役職員との徹底した話し合い

◎ 組合員の意思反映による事業運営を継続して実践します。

- 主な具体策 ① 徹底した話し合いの場の継続
 ② 正組合員意見交換会の参加者増加

自己改革Ⅲ 准組合員の地域農業のパートナー化

◎ 准組合員の地域農業のパートナー化をさらに進めます。

- 主な具体策 ① 准組合員の産直・共選品購入割合 65%の達成
 ② 准組合員への農作業パートの促進
 ③ 准組合員への野菜栽培指導と産直加入の促進